

せせらぎ

2017
さくら号
vol.21

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに...

患者さんに寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します

市民病院 薬剤科



もくじ Contents

- こんにちは薬剤科です!~薬剤科の役割紹介~.....2・3 P
- シリーズ 災害医療情報発信 それゆけDMAT⑩
いざという時にあわてないため!!万が一に備えて part 2.....4・5 P
- 脳ドックに関する基礎知識Q&A.....6 P
- せせらぎ掲示板.....7 P
 - ・新任の鍼灸師をご紹介します!
 - ・樋口院長が「高知県国保地域医療推進協議会会長表彰」を受賞しました!
 - ・医療相談室よりお知らせ 「レスパイト入院」の受け入れについて
 - ・「糖尿病にならないためのセミナー」を開催します
- 平成29年度「四万十市脳ドック検診費用助成事業」のご案内.....8 P
「人間ドック」のご案内
「寄付のお礼」ほか



こんにちは 薬剤科です!

当院薬剤科では、以下の業務を中心に、患者さんが安全に治療を受けられるようにサポートを行っています。



【処方調剤】

内服薬オーダーリングシステムに基づいて、主に入院患者さんの薬の調剤・監査を行っています。入院患者さんのお薬はできる限り服用時点ごとに一包化しています。散剤は監査システム付きの秤で、調剤者や調剤内容が履歴として残るようになっていきます。



【注射薬調剤】

医師の注射箋指示に基づき、処方を入力してラベル発行し、入院患者さんの注射薬を個人ごとに取り揃えて、1日分ずつ各病棟へ払い出ししています。注射薬の配合変化(薬剤によっては混ぜると結晶がでたり、効果が弱まったりすることがある組み合わせがあります)や相互作用(組み合わせによって思わぬ副作用が現れることがあります)の確認や投与量・投与速度・投与経路の確認を行っています。



【病棟業務／薬剤管理指導】

(持参薬鑑別／薬学的管理)

患者さんが入院時に持ちこまれたお薬の鑑別を行っています。相互作用や重複、腎機能・肝機能障害や病態禁忌薬の有無、副作用の有無等の確認も同時に行います。

(配薬カート管理)

自己管理が難しい患者さんには、お薬を預かり一回分ずつセットしてその都度患者さんのもとへ配薬するようにしています。

(麻薬／ハイリスク薬管理)

麻薬やハイリスク薬については、必要に応じて服用前の説明や服用量・中止再開の確認などを行います。

(TDM業務)

特定の抗菌薬の血液中の濃度を測定・解析し、最適な投与方法の提案を行っています。

(服薬指導)

入院中の患者さんや家族に対するお薬の説明や、効果・副作用の確認などを行います。



【化学療法(外来・入院)に関わる業務】

抗ガン剤を安全に使用するために、レジメン(薬剤投与計画書)の管理を通じた投与量・投与方法の確認、患者さんへの説明や副作用の有無の確認、抗ガン剤の無菌調製を薬剤科が行っています。



【医薬品管理】

病院内で使用される医薬品の登録・発注・管理を行っています。医薬品にも使用期限があるため、期限切れのお薬がないか定期的にチェックを行っています。

また向精神薬や毒薬、血液製剤に関しては、薬事法等に基づき適切な保管・管理を行っています。



【医薬品情報管理】

薬に関する情報は日々更新されていきます。薬の副作用や効能効果の最新情報や、新しく発売された薬の情報などを集めて、管理・提供します。院内採用医薬品集(年1回)やD | ニュース発行や新規採用医薬品のお知らせ、質疑応答などを通して院内スタッフへの情報提供を行っています。



【医薬品安全管理】

医薬品の安全管理のための手順書作成、医療スタッフへの研修、安全管理に関する情報の収集と提供を通して、医薬品が安全に使用されるように努めています。

【感染制御】

当院では、耐性菌(抗菌薬が効きにくくなった菌)の出現を抑制するため、特定の抗菌薬に関しては、届け出制を導入し、使用状況を監視しています。さらにTDMの実施や抗菌薬使用量の集計、院内ラウンドへの参加、研修会の実施等を行っています。

【チーム医療への参加】

糖尿病療養指導や、褥瘡対策などに対し、チーム医療の一員としての活動を行っています。

【薬剤科スタッフ】

薬剤師4名、臨時職員2名
(認定資格等)

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師 1名、日本糖尿病療養指導士 1名

**このほかにも薬剤科6名でお薬にかかわるさまざまな業務を行っています。
お薬に関する疑問や質問等がございましたら、病棟薬剤師または院内薬局窓口までお気軽に声をかけてください。**

【薬剤科からのお願い】

当院では入院時の持参薬はすべて薬剤師が鑑別を行っています。いつからどんなお薬をのんでいるのかはとても重要な情報です。お薬とともにお薬手帳の提出をよろしくお願いします。



**お薬手帳は、処方内容や主な既往歴などが記入できる手帳です。
外出先での急な体調の変化や万一の災害発生時等にも役立ちますので、日頃から携帯することをおすすめします。**

シリーズ災害医療情報発信 それゆけ!DMAT⑩

いざという時にあわてないため!!
万が一に備えて PART2

前号に引き続き、災害に対する心構えと準備について簡単にご説明します。



(救急災害対策委員会)
北川 了三

家の中の安全対策をしておく

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策を講じておく必要があります。寝室や子ども部屋などにはできるだけ置かないようにし、家具を置く場合はなるべく背の低いものにし転倒防止対策をとりましょう。家具が倒れてけがをしたり、出入り口をふさいだりしないよう家具の向きや配置を工夫し、壁に固定するなどの対策をしておきましょう。

家具のほかにも、窓ガラスやペンダント式の照明、テレビ、電子レンジ・オーブンなど、家の中には凶器になるものがたくさんあります。地震の発生時、それぞれの部屋にどのような危険があるのかを考えて、対策をしておきましょう。

また、手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。懐中電灯は停電による暗闇を歩くときの必需品です。スリッパは割れたガラスの破片などでけがをするのを防ぎます。ホイッスルは建物や家具の下敷きになった場合に救助を求めるためのもので、少しの息でもホイッスル音が出るので、救助する際の生息の目安になります。

タンス

床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定。ポール式器具は、タンスの奥の方(壁側)で天井や家具の硬いところに取り付ける。上下に分かれている家具は連結しておく。

食器棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける。ガラスにはガラス飛散防止フィルムを張る。

本棚

L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段に。本棚の端の硬い部分にひもやベルトなどを取り付けて、本が飛び出さないようにしておく。

テレビ

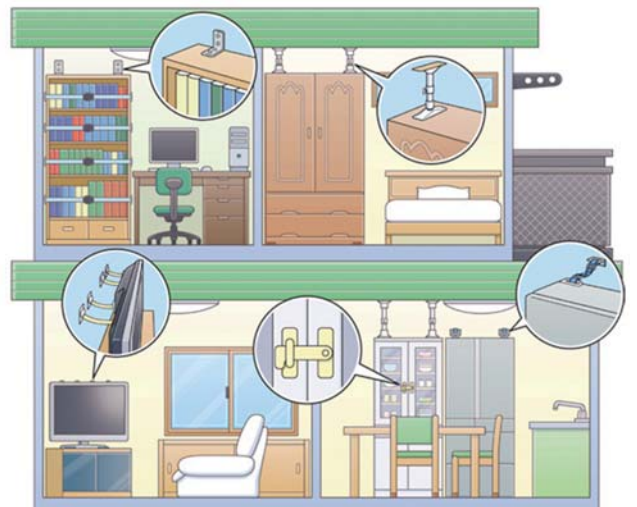
粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する。

冷蔵庫

裏側をワイヤーなどで壁に固定する。

窓ガラス

強化ガラスに替えたり、飛散防止フィルムを張ったりする。カーテンを閉めておくことでも室内への飛散防止に効果があります。また、割れたガラスが飛散した部屋でも安全に歩けるように、スリッパなどを近くに置いておく。



地震が発生した時の身の守り方を知っておく

地震はいつどこで発生するか分かりませんが、気象庁の**緊急地震速報**を活用することによって、強い揺れが来ることを直前にキャッチし、身の安全を守る行動をとることができます。**緊急地震速報**は、地震の発生直後に震源や地震の規模(マグニチュード)を推定し、各地における振動到達時刻や震度を予測し、可能な限り早く知らせるシステムです。**緊急地震速報**は震度5以上が予想されたときに発表され、テレビやラジオ、携帯電話、市町村の防災無線などを通じて報知されます。**緊急地震速報**を見聞きしてから強い揺れが来るまで数秒から数十秒のわずかな時間しかありません。すぐに周りの人に地震が来ることを知らせ、あわてずに身の安全を確保するようにしましょう。

家の中では

座布団などで頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外へ飛び出さない。もし、火が発生した場合には可能な限り火の始末、火元から離れている場合は無理して火元に近づかないようにする。



人が大勢いる施設(大規模店舗などの集客施設)などでは

施設の誘導係員の指示に従う。頭を保護し、揺れに備えて身構える。あわてて出口・階段などに殺到しない。ガラス製の陳列棚や吊り下がっている照明などの下から離れるようにする。



エレベーターでは

最寄りの階で停止させ、速やかにエレベーターから降りるようにする。



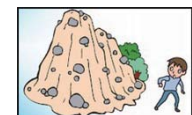
屋外にいるときは

ブロック塀や自動販売機など倒れてきそうなものから離れる。看板、割れた窓ガラスの破片が落下することがあるので建物の周囲から急いで離れる。



山やがけ付近にいるときは

落石やがけ崩れが発生しそうな場所から急いで離れる。



自動車運転中のときは

あわててスピードを落とさず、ハザードランプを点灯させながら徐行し、周りの車に注意を促す。周囲の状況を確認して道路左側に停車させる。エンジンを止め揺れが収まるまで車内で待ち、揺れが収まったら、ドアをロックせずキーをつけたまま車外に出て、安全な場所へ避難する。



電車・バスに乗車中のときは

つり革、手すりなどにしっかりつかまり、車外に投げ出されないように気を付けるとともに、車掌または誘導員の指示に従う。



脳ドックに関する基礎知識 Q&A

Q1 どんな検査をするの？

A1 MRI、頸動脈エコー、神経学的診察を行います。

Q2 なんのためにするの？

A2 症状が出る前に病気を見つけるため(早期発見)です。
自分の脳の状態を知り、病気を予防する意味があります。

Q3 どんな人が受けるといいの？

A3 普段病院にかからない方が主な対象です。
その他、特に症状はないけど、脳の健康状態が気になるという方。

Q4 普通の外来受診とどう違うの？

A4 外来で受診された場合は、各々の症状に応じて詳しく検査をします。

Q5 脳ドックより外来受診を勧められたけど？

A5 すでに病院にかかっている方(糖尿病、高血圧、脂質異常症など)や気になる症状がある方(頭痛、めまいなど)です。

脳ドックはあくまでも検診ですので、外来で症状に合った詳しい検査を受けてください。

Q6 「助成金が出る脳ドック」と「外来受診」のそれぞれの費用は？

A6 下表参照。※料金は診察、MRI、頸動脈エコーを行った場合で計算しています。あくまでも目安です。

	自己負担額の目安
脳ドック受診	8,210円
外来受診した場合 75歳以上の方(1割負担)	約2,730円
外来受診した場合 70～74歳の方(2割負担)	約5,460円
外来受診した場合 40～69歳の方(3割負担)	約8,200円

Q7 MRI検査を受けられない人はいるの？

A7 下の図に当てはまる方にはご遠慮いただいています。(施設によっては、可能な場合もあります)

	<ul style="list-style-type: none"> ・磁力装着義眼 ・金属加工等の仕事に勤務した経験や事故などで体内(特に眼)に金属片/粉が入っている人 		<ul style="list-style-type: none"> ・義肢 ・骨折治療用金属ボルト ・鍼灸用ハリ(留置) ・チタン以外の人工骨・関節 ・ハローベスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・インプラント ・差し歯 ・本格矯正装置(マルチブラケットシステム) ・歯科用磁性インプラント
	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓ペースメーカー及びリード ・冠動脈等用ステント ・除細動器 ・刺激電極 ・シャント 		<ul style="list-style-type: none"> ・人工内耳 ・補聴器 ・脳動脈瘤手術用クリップ 		<ul style="list-style-type: none"> ・刺青 ・タトゥー
	<ul style="list-style-type: none"> ・美容整形術で植え込まれた金糸等 		<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方 ・避妊リングを入れている方 		<ul style="list-style-type: none"> ・閉所恐怖症のある方

脳ドックと外来受診のどちらを受診するかを悩まれている方はお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 市民病院 脳神経外科外来 ☎0880-34-2126(代表)

月曜日～金曜日(祝日は除く)の14時～16時の間にお願いします。

せせらぎ掲示板

新任の鍼灸師をご紹介します！

中医学研究所附属鍼灸院(市民病院敷地内)を2月1日から再開しました。

患者さんの身体が少しでも楽になっていただけるよう一生懸命努めてまいります。
どうぞよろしくお願いたします。



診 療 日 ※水曜日、日曜日、祝日は休診日です。

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午 前	○	○	-	○	○	○	-
午 後	○	○	-	○	○	○	-



鍼灸師 おき ともゆき 沖 知之

【問い合わせ先】 中医学研究所附属鍼灸院 ☎0880-34-4798

樋口院長が「高知県国保地域医療推進協議会会長表彰」を受賞しました！

平成29年2月25日(土)に、高知市で開催された第30回高知県国保地域医療学会において、樋口院長が多年にわたり地域医療の推進に貢献したとして、「高知県国保地域医療推進協議会会長表彰」を受賞しました。

受賞理由は、昭和55年10月から市民病院に勤務し、36年間にわたり、地域医療の現場において、診療だけでなく、地域住民の健康管理などにおいて継続的に活動している。特に、平成17年4月からは院長として、医師不足という厳しい状況の下で、当院の診療体制を維持し、地域住民が安心して生活が送れるまちづくりに貢献しているというものです。



医療相談室よりお知らせ

「レスパイト入院」の受け入れについて

市民病院では、地域で在宅医療をされている患者さんやご家族を支援するために、地域包括ケア病棟で「レスパイト入院」の受け入れをしています。

レスパイトとは“一時休止”“休息”“息抜き”という意味で、一時的に在宅介護ができない期間、患者さんを入院させる制度を「レスパイト入院」といいます。

*利用できる患者様の例

褥瘡処置、たん吸引、胃ろう、気管切開、在宅酸素、人工呼吸器管理等を受けているなど医療処置が必要な患者さん

*一回の入院期間は原則14日以内です。

【連絡先】

市民病院 医療相談室 ☎0880-34-2126(代表)
「レスパイト入院」についてのご相談は、月曜日～金曜日(祝日は除く)の14時～17時の間にお願いします。

「糖尿病にならないためのセミナー」を開催します

糖尿病を予防するためには、日々の食事と運動がとても大切です。今回のセミナーは、効果的な運動のコツについて、実践を交えながら楽しく学ぶことができる内容を予定しています。糖尿病の方だけでなく、人間ドックや健康診断で糖尿病予備軍と指摘を受けられた方、ご自身やご家族の健康に不安のある方など、どなたでもお気軽にご参加ください。

事前申し込みは不要です。当日、受付時間内に運動のできる服装・靴でお越しください。日頃から疑問に思っていることなどもぜひご相談ください。

日 時：平成29年5月27日(土)

13:00～ 受付、血糖・血圧測定

15:30 終了予定

場 所：市民病院 1階 健康管理センター

参加費：無料

問い合わせ先 市民病院 理学療法室 北川

☎0880-34-2126(代表)

外来診療医師担当日表

平成29年4月1日より

		月		火		水		木		金	
内科	午前	初診 予約外	濱川公祐	初診 予約外	小川貴司	初診 予約外	岡崎弘泰	初診 予約外	濱川公祐	初診 予約外	小川貴司
		予約	小川貴司	予約	樋口佑次	予約	樋口佑次	予約	樋口佑次	予約	※竹田修司 (不定期)
		予約		予約	※鷲山憲治	予約	濱川公祐	予約	小川貴司	予約	濱川公祐
	午後	予約	濱川公祐	予約	小川貴司	予約	小川貴司	予約	小川貴司	予約	岡崎弘泰
		予約	樋口佑次	予約	※鷲山憲治	予約	濱川公祐				予約
		予約	岡崎弘泰 (漢方外来)	予約	※国立高知 第2・4週	予約	岡崎弘泰	予約	濱川公祐	予約	※竹田修司 (不定期)

※印のある医師は非常勤医師です。
 ・国立高知病院医師が交替で診察します。
 ・竹田修司医師の勤務は不定期となっています。

脳神経 外科	午前	伴 昌幸	川田 祥子	伴 昌幸	川田 祥子	伴 昌幸
	午後	川田 祥子	伴 昌幸	川田 祥子	伴 昌幸	川田 祥子
外科	午前	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介	(検査)	宇都宮俊介
整形 外科	午前	河内 通	坪屋 英志	河内 通	坪屋 英志	河内 通
泌尿 器科	午前	中尾 昌宏	中尾 昌宏	中尾 昌宏	中尾 昌宏	中尾 昌宏

- 受付時間 午前8時～11時まで(脳神経外科は午後2時～4時の間も受付していますが、できるだけ午前中に来院してください。)
- 漢方外来は月曜日の午後のみです。診療を希望される方は事前の電話予約が必要となります。
- 診療時間 午前8時30分～午後5時15分(急患の方については午後9時まで受付しています。電話連絡のうえ来院してください。)
- 休診日 土曜日・日曜日・祝日及び年末年始

平成29年度「四万十市脳ドック検診費用助成事業」のご案内

四万十市では、40歳以上の市民を対象に、脳ドック検診費用助成事業を行っています。脳ドック検診は、くも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中の疾病予防や早期発見・早期治療につながる大変有効な検診です。脳ドック検診を希望される方は、ぜひご利用ください。

- 申込期間 平成29年4月5日(水)～4月21日(金)
- 問い合わせ・申込先
 (本 庁)保健介護課 健康増進係 ☎0880-34-1115
 (総合支所)保健課 保健係 ☎0880-52-1132
 ※詳しい内容は、広報四万十4月号または市ホームページでご確認ください。

「人間ドック」のご案内

- 4月より、「人間ドック」の受け入れを月・水曜日(各3名)、木曜日(2名)の週3日実施します。
(人間ドック標準額)35,100円
(人間ドック標準検査内容)胃内視鏡検査、腹部エコー、血液・尿検査、胸部レントゲン、心電図、男性(PSA“前立腺特異抗原”検査)、女性(乳がん検診)
(オプション検査 別途料金)頸動脈エコー、甲状腺エコー、甲状腺ホルモン検査、骨塩量測定、肺CT、A B I 測定(動脈硬化度測定)
健康管理のためにもぜひご利用ください!
 ●申込先:市民病院 人間ドック担当 ☎0880-34-2126(代表)
 ●予約受付時間:月曜日～金曜日(祝日は除く)の14時～17時

「寄付のお礼」

医療法人政佳会様より生体情報モニター(ベッドサイドモニター)を一台寄付していただきました。生体情報モニターは、患者さんの心電図・血圧・脈拍・酸素飽和度などが観察できるもので、異常の早期発見などに役立つ医療器械です。様々な治療現場で活用させていただきます。ありがとうございました。



四万十市立市民病院理念

- 【基本理念】**
 私たちは良質な医療を提供し、患者さんに信頼される病院を目指します。
- 【基本方針】**
(患者の権利の尊重)
 患者さんの人権と生命の尊厳を尊重した医療を行います。
(職員の自覚・自己啓発)
 全ての職員は医療技術の研鑽に努め、親切で優しい対応を心がけます。
(地域連携)
 地域の医療機関等との連携を推進し、開かれた病院づくりに努めます。
(経営健全化)
 経営の健全化を図り、安定した病院運営に努めます。

ホームページもぜひご覧ください!

四万十市立市民病院

発行元
四万十市立市民病院広報委員会

〒787-0023
 四万十市中村東町1丁目1番27号
 TEL(0880)34-2126・FAX(0880)34-1861